

森りょうじ リポート。(84号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■流山市は今年で50歳になりました！

昭和42年に流山市が誕生してから、今年で50年目となります。住宅開発、公共施設整備、常磐自動車道流山I.Cやつくばエクスプレスの開通などにより人口は大幅に増加し、今日の隆盛に繋がっているように思います。本市は今後10年間も人口増が予想されています。これから目指すべき街の姿を皆様と一緒に語り合いながら、更に素敵なまちづくりを進めていきたいと思っております！

■新年度予算方針は？※第4回定例会一般質問より

新年度が近づく中、行政内部でも予算編成作業が大詰めを迎えています。そこで今定例会の一般質問では『歳入・歳出の大枠の見通し』を質しました。

歳入では区画整理や定住人口の増加により市税全体で『7.5億円の増収』見通しと力強い内容が示されました。一方、歳出では人口増に伴う保育・児童施設や小学校施設の整備費や社会保障費の伸びが大きく見込まれるとのことでした。また地域経済の好循環を生み出すために「市内発注の機会拡大」を目指していくとの方針も示されました。(一般質問は裏面でも特集しています)

■案内①: 次回の駅活動は4月になります。

2～3月中の活動はホームページ・SNSをご覧ください！

■案内②: 平成29年第1回定例会のご案内

会期日程は2/16-3/21の予定です。なお市議会で直接傍聴もいただくことが出来ますし、インターネット中継(録画もあり)でご覧頂くこともできます。

○1976年6月12日流山生まれ(40歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

森 が 動 く。 森 り よ う じ



流山市議会議員

討議資料

清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

東京五輪開催まで3年半となりました。日本また地域にとっても一つの節目となる2020年はすぐそこです。考えるだけでなく、“行動に移す時期”が既に来ているように思います。

一般質問①

【信頼される市役所の条件。】

企業などの組織は、定期的に人事異動を行いながら社員・部署を育てることで組織全体を強くしていきます。これは組織マネジメントの考えであり、端的に言えば“チームワークを生かしながら目標を達成するための組織作り”です。また行政の目標である『良質なまちづくりを行う』や『市民満足度の高い行政サービスの提供』のためにも、実際の組織運営にあたっては管理職のポジションに就いている人には高い見識や統率力が求められてきます。

一方、近年は行政改革の名のもとに市職員の積極的な採用が控えられてきた結果、行政組織のスリム化が進みましたが、組織をマネジメント出来る人材が不足しつつあるとの指摘もあります。実際、右図でわかるように5歳毎の職員構成でみると

資料④：“確かな市役所”に向けて

◎年齢構成の推移(平成27年度決算審査資料)

年齢区分	H28	H23	H18
20歳～24歳	7.2%	4.4%	0.8%
25歳～29歳	11.5%	9.1%	5.6%
(中略)	—	—	—
40歳～44歳	10.5%	11.1%	14.3%
45歳～49歳	12.0%	15.4%	20.7%
50歳～54歳	15.0%	19.8%	22.1%
55歳～59歳	17.6%	20.0%	15.5%

50代以上の年齢構成が高い傾向が窺えます。このことから幹部職員の同時退職の回避、また技術・人脈の継承などをどのように行うかは組織的な課題です。市長から「市民への影響が無いよう人事配置を考慮し、事務が停滞することのないように努めたい」との答弁でした。地味ですが、軽視してはならない分野だと思えます。

一般質問②

【北部地域、再生へ①】

市内を走る主要鉄道路線の一つに『東武アーバンパークライン』がありますが、その運営事業者である東武鉄道株式会社より『運河駅に特急を停車する』との発表がありました。4路線11駅(住所が柏市の駅も含む)を有する本市ですが、特急停車は初めてのこととなります。またその運河駅周辺は、市として観光スポット

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

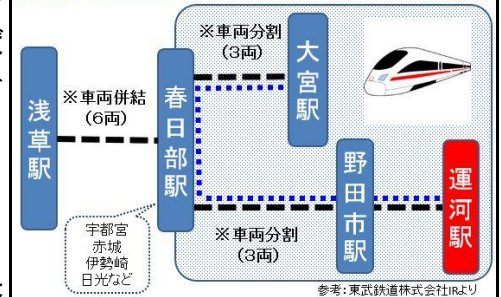
と捉えていることから、単なる特急停車駅に留めず、ツーリズム事業拡大のための戦略に位置づけるべきとの質問を行いました。

各市町村で取り組む観光戦略は基本的に近隣の大都市から外国人観光客などを誘致するといった視点が主流ですが

今回で言えば埼玉方面などからの誘致も見据えることができます。経済振興部長

資料⑤：北部地域、再生へ。

◎特急アーバンパークライナーの経路



は『今回の新事業を好機と捉え、更なる交流人口の拡大に繋げたい』との力強い答弁でした。

一般質問③

【北部地域、再生へ②】

「市はおおたかの森駅周辺ばかりに力を入れている」との声をお聞きします。確かに区画整理やマンション建設の風景を見るとそのような印象を受けますが、予算配分でみると、それ以外の地域にも配慮しながらまちづくりを進めています。そのようなことから、今後は各地域の個性を生かし、課題に適した地域づくりが求められると思います。そこで今回は北部地域のまちづくりと展望について質しました。

高齢化が進む北部地域において私が注目するのが新川耕地で進む2つの大型物流施設建設です(平成30年開業)。これは民間主体の事業ですが

計6千人の雇用を創出するとしていきます。また職住近接と公共交通網の

資料⑥：北部地域、再生へ。

◎各施設へのアクセス

- ①第3物流(運河駅より2.2km)
→起点は…江戸川台駅?
※グリーンバス・送迎バス?
- ②第2物流(初石駅より1.8km)
→起点は…江戸川台駅?
※グリーンバス・送迎バス?
- ③新川S・F(最寄駅は初石駅)
→起点は…江戸川台駅・南流山駅
※グリーンバス・東武バス



再構築を図ることで、雇用対策や若年世代の定住促進に結びつけられると思っています。

【連絡先】TEL & FAX:7155-3236
Mail:ryoji612@peach.ocn.ne.jp